

# 21世紀への遺産

City's Culture



主屋は座敷棟・小座(おござ)・台所棟の三棟を接合した建物



台所棟



座敷棟



配置図

## 武家住宅を完全に 伝える旧黒澤家住宅

時を越えて生き続ける見えない力がある。  
ふるさとの文化。  
いま、次代へ、確かに伝えるもの...

**旧** 黒澤家住宅は、今から約三百年前、現在の中通三丁目  
に建てられた上級武家の住  
宅です。

当時の中通地区は久保田城下の侍町  
で、三ノ廓(さんのくるわ)と呼ばれ、  
上級、中級の武士が住み、久保田城の  
正面の守りを固めていました。

黒澤家の屋敷は藩主が参勤交代の際  
に利用する主要道に面していて、間口  
十三間余、奥行二十九間余の敷地を占

めていました。

### 武士の生活を伝える 貴重な文化遺産

当時、藩士の住宅は藩の所有物で、  
その身分や石高に応じてあてがわれて  
いました。そのため、藩の都合や藩士  
の身分により、頻繁に居住者の変更が  
行われました。

この住宅の主(あるじ)も芳賀家、赤  
田家、吉成家、平井家と移り変わり、  
文政十二年(一八二九)から黒澤家が入  
っています。

黒澤家は近年までこの家に住み続け  
ていましたが、現地での保存が難しく  
なったため、秋田市が黒澤家から寄贈  
を受け解体保存し、昭和六十三年に一



長屋門形式の表門は上級武士にのみ許されていました



### 旧黒澤家住宅

旧黒澤家住宅 ☎(831)0285  
一つ森公園(檜山字石塚谷  
地)内にあります。観覧は  
午前9時30分~午後4時  
です。観覧料は大人100円、  
高校生50円です。

つ森公園内に移築しました。平成元年  
五月十九日、国の重要文化財に指定さ  
れています。

旧黒澤家住宅は、道路に面して長屋  
門形式の表門を構え、中央に主屋(お  
もや)、その背後に土蔵・米蔵・木小屋  
などが並んでいます。敷地周囲は、正  
面側を板塀、その他の面を生垣で囲っ  
ており、敷地東北隅には氏神堂があり  
ます。主屋にある書院造りの座敷棟、  
台所棟はこのうち最も古い部分で、十  
八世紀前半頃に建てられたものです。

現在残っている江戸時代の武家住宅  
は、幕末や明治期に建て替えられてい  
たり、何度も改築されていたり、附属  
の建物が失われていたりするものがほ  
とんどで、黒澤家住宅のように、完全  
な形で住時の姿を伝える上質な武家住  
宅は、全国的にも類例がありません。

当時の上級武士の暮らしを今に伝え  
る旧黒澤家住宅。一つ森公園の静けさ  
のなかで、この貴重な文化遺産をどう  
ぞご覧ください。